

4.6 条件付最大・最小問題

鈴木 譲

2009年7月22日(水)

目次

4.6 条件付
最大・最小
問題

鈴木 譲

目次

2 変数の条
件付最大・
最小問題

一般のラグ
ランジュ未
定乗数法

① 2変数の条件付最大・最小問題

② 一般のラグランジュ未定乗数法

2変数の条件付最大・最小問題

4.6 条件付
最大・最小
問題

鈴木 譲

目次

2変数の条件付最大・
最小問題

一般のラグランジュ未
定乗数法

例:

$$\varphi(x, y) := x^4 + y^4 - 1 = 0$$

のもとで、

$$f(x, y) := x^3 + 2y^3$$

の最大値、最小値を求めたい。

D : 有界閉領域

$f(x, y), \varphi(x, y)$: C^1 -関数

定理 (ラグランジュの未定乗数法、その 1)

λ をパラメータとして、

$$F(x, y, \lambda) := f(x, y) + \lambda\varphi(x, y)$$

とおく。条件 $\varphi(x, y) = 0$ のもとで、最大値、最小値をあたえる点 (x, y) は、次の 1., 2., 3. のどれか

- ① D の境界で $\varphi(x, y) = 0$ を満たす点
- ② $\varphi_x(x, y) = \varphi_y(x, y) = 0$ (曲線 $\varphi(x, y) = 0$ 特異点)
- ③ $F_x(x, y, \lambda) = F_y(x, y, \lambda) = \varphi(x, y) = 0$ の連立方程式の解

2変数の条件付最大・最小問題 (続)

4.6 条件付最大・最小問題

鈴木 譲

目次

2変数の条件付最大・最小問題

一般のラグランジュ未定乗数法

証明: $f(x, y)$ が (a, b) で、条件 $\varphi(x, y) = 0$ のもとで最大値または最小値をとり、境界でも特異点でもないとする。

$\varphi_x(a, b) = \varphi_y(a, b) = 0$ にはならないので、 $\varphi_y(a, b) \neq 0$ を仮定

陰関数定理 (定理 4.18) より、

$x = a$ の近傍で $\varphi(x, \phi(x)) = 0$, $b = \phi(a)$ なる $y = \phi(x)$ が存在

$$z = f(x, \phi(x))$$

$$\frac{dz}{dx}(a) = f_x(a, b) + f_y(a, b)\phi'(a) = f_x(a, b) - \frac{\varphi_x(a, b)}{\varphi_y(a, b)}f_y(a, b)$$

境界ではなく、最大または最小になるので、この値は 0 になる。

2変数の条件付最大・最小問題 (続)

4.6 条件付
最大・最小
問題

鈴木 譲

目次

2 変数の条件付最大・
最小問題

一般のラグランジュ未
定乗数法

$\varphi_x(a, b) \neq 0$ のとき、

$$\lambda := -\frac{f_x(a, b)}{\varphi_x(a, b)} = -\frac{f_y(a, b)}{\varphi_y(a, b)}$$

は、 $\varphi(a, b) = 0$ 以外に以下を満たす。

$$F_x(a, b, \lambda) = f_x(a, b) - \lambda\varphi_x(a, b) = f_x(a, b) - \frac{f_x(a, b)}{\varphi_x(a, b)}\varphi_x(a, b)$$

$$F_y(a, b, \lambda) = f_y(a, b) - \lambda\varphi_y(a, b) = f_y(a, b) - \frac{f_y(a, b)}{\varphi_y(a, b)}\varphi_y(a, b)$$

$\varphi_x(a, b) = 0$ のとき、 $f_x(a, b) = 0$ より、 $\lambda = -\frac{f_y(a, b)}{\varphi_y(a, b)}$ とおけば、

$$F_x(a, b, \lambda) = F_y(a, b, \lambda) = \varphi(a, b) = 0$$

2変数の条件付最大・最小問題 (続)

4.6 条件付
最大・最小
問題

鈴木 譲

目次

2変数の条
件付最大・
最小問題

一般のラグ
ランジュ未
定乗数法

例に戻る:

$D := \{(x, y) \mid |x| \leq 2, |y| \leq 2\}$ の境界で、 $\varphi(x, y) \neq 0$
 $\varphi_x(x, y) = 4x^3$, $\varphi_y(x, y) = 4y^3$ より、特異点はない。

$$F(x, y) := f(x, y) + \lambda\varphi(x, y) = x^3 + 2y^3 + \lambda(x^4 + y^4 - 1)$$

$$F_x(x, y, \lambda) = 3x^2 + 4\lambda x^3 = 0$$

$$F_y(x, y, \lambda) = 6y^2 + 4\lambda y^3 = 0$$

$$\varphi(x, y) = x^4 + y^4 - 1 = 0$$

2変数の条件付最大・最小問題 (続)

4.6 条件付
最大・最小
問題

鈴木 譲

目次

2変数の条
件付最大・
最小問題

一般のラグ
ランジュ未
定乗数法

$$\begin{aligned}(x, y, \lambda) = & (0, 1, -\frac{3}{2}), (0, -1, \frac{3}{2}), (1, 0, -\frac{3}{4}), (-1, 0, \frac{3}{4}), \\ & (-17^{-1/4}, -2 \cdot 17^{-1/4}, \frac{3}{4} \cdot 17^{1/4}), \\ & (17^{-1/4}, 2 \cdot 17^{-1/4}, -\frac{3}{4} \cdot 17^{1/4})\end{aligned}$$

$$2, -2, 1, -1, -17^{1/4}, 17^{1/4}$$

最大値 $17^{1/4}$, 最小値 $-17^{1/4}$

一般のラグランジュの未定乗数法

4.6 条件付
最大・最小
問題

鈴木 譲

目次

2 変数の条
件付最大・
最小問題

一般のラグ
ランジュ未
定乗数法

定理 4.22 と演習問題 4-6-1

$$f(x, y), \varphi(x, y)$$

定理 4.23 と演習問題 4-6-2

$$f(x_1, \dots, x_n), \varphi(x_1, \dots, x_n)$$

定理 4.24 と演習問題 4-6-3

$$f(x_1, \dots, x_n), \varphi_1(x_1, \dots, x_n), \dots, \varphi_k(x_1, \dots, x_n)$$